

10/31

# 知らなかった 市内にあったこんなところ

## 平成29年度市民見学会

10月31日(火)、市内4施設を見学する『市民見学会』(市主催)を開催しました。

市民見学会は、市内にある施設を見学し、市民の皆さんにまちづくりの様子をより知っていただくため、毎年開催しています。

今年度は、市民20人が参加し、平成29年4月より供用が開始された新鷺別小学校をはじめ、ふおれすと鉦山や幌別ダム、郷土資料館・文化伝承館を見学しました。

木を基調としたぬくもりある内装の鷺別小学校では、太陽の光を最大限に取り入れるよう設置された光ダクトや地域の活動の場としても使用できる特別活動室などの説明を受け、参加者は工夫された新しい小学校に感心していました。

また、廃校となった幌別鉦山小中学校を利用した『ふおれすと鉦山』や、所蔵資料が1万8千点を超える郷土資料館では、自然や歴史を感じとるなど、登別市の魅力を改めて確認していました。



▲鷺別小学校の3階に備蓄された非常用食糧



▲普段入ることのできない幌別ダムの堤防の上で説明を受ける参加者

## 文化の違いを知る

### 第4回国際理解講座

10月30日(月)、市民会館で『第4回国際理解講座』(市主催)を開催し、37人の方が参加しました。今回は、日本工学院北海道専門学校ビジネス学科に通う大韓民国からの留学生・丁東鉦(チョンドンギョ)さんを講師に招き、『韓国のさまざまな文化について』をテーマに講話を行いました。

丁さんは、大韓民国の文化や生活の特徴を説明したほか、「日本とは違い、日常的に握手する」、「物を手渡すときは両手で渡すか、渡す手の肘辺りにもう片方の手を添えるのがマナー」と大韓民国の習慣について話してくれました。

参加者は、文化や習慣などの日本との違いに、熱心に聞き入っていました。



▲日頃から口にしている食品の塩分を測定し、思ったよりも量が多いことに驚く参加者

## 見て体験して学ぶ

### 第40回登別消費生活展

10月20日(金)・21日(土)、市民会館で『第40回登別消費生活展』(登別消費者協会主催)が開催されました。この催しは、消費生活に関する各種情報提供を行うことで、来場者が自分の生活を見直し、安全安心な生活を送るヒントにしてもらうために毎年実施しています。

40回目の節目を迎えた今回は、特殊詐欺の事例紹介や悪質訪問販売の注意喚起などに関する展示のほか、食品の塩分を測定する実験や生ごみの水切り体験など例年よりも多様な体験コーナーが設けられ、来場者は、楽しみながら安全安心に暮らす『生活の知恵』を学びました。

10/30

10/20・21



▲写真などを使って、定番の屋台料理など大韓民国の食文化について説明する丁さん